

つながり支え合う ともに生きるまちづくり



上の写真：参加者が
布の端切れをつない
だ作品、次回以降展
示される予定です。

長らく外出自粛や活動制限が続いてきましたが、ようやく市内でも様々なイベントが行われるようになり、活気が戻りつつあります。

10月15日には、3年ぶりに「あつたかまつり」が武蔵野エコリゾートで開催され、大勢の人が再開＝再会を喜び合いました。

あつたかまつりのルーツは、20年以上前の「福祉展」に遡ります。現在は、実行委員会と(社)武蔵野が主催し(市共催)、多様性を理解しあい、一緒にづくりあげ楽しむイベントになっています。

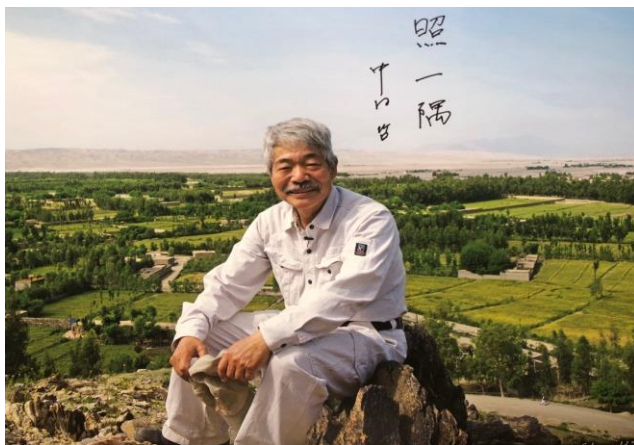
2020オリンピックパラリンピックの年、あつたかまつりはちょうど第20回を迎える予定でした。残念ながら中止となりましたが、中断していた3年近くの間、オンラインを交えた実行委員会で、どうやったら開催できるか、開催しなくてもお互いにつながる何かがあつたらいいね…など、実行委員メンバーで意見を出し合ってきました。

そして迎えた2022年は、広い空間で密を避けられる武蔵野エコリゾートが会場となりました。これまでステージで行ってきた歌の発表などは映像でつなぎ、団体の紹介ビデオも併せて上映しました。お楽しみ飲食コーナーは見合わせましたが、展示やゲームなど趣向を凝らし、スタッフ合わせて1000人近い人たちの笑顔が集いました。来年は、歌や踊りの発表、おいしい模擬店もできるといいますね♪

～information～

「荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲 現地活動 35年の軌跡～」上映会



日時：12月3日(土)

午前の部 10:30～、午後の部 2:00～

場所：かたらいの道市民スペース
(中町1-11-16 武蔵野タワーズ1階)

資料代：500円

左写真：2019年緑の肥沃となったガンベリ砂漠を背に

12月4日、中村哲さんがアフガニスタンの地で天に召されて3年になります。
あらためて、心とともに、その実践と思索を映像でとどめたいと思います。

*定員各回50名・申込み順(状況により定員等に変更がある場合はご容赦ください)
お問い合わせ・申込み メール satochi@y8.dion.ne.jp または電話 080-3758-1057(内山)

★11月8日、夜空を見上げていらしたでしょうか？日本で皆既月食&惑星食が重なるのは1580年以来とか…442年前も赤銅色の月が、人の世の諍いを見下ろしていたのでしょうか。寛容は、不寛容を超越できるのか…月明りに問うてはみたが。(智)